

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2016年11月24日

「柴田町 槻木生涯学習センター」

Happy Doll Project

聴覚に障がいを持つ方、手話を学ぶ健聴者が在籍している「柴田手話サークル」に初めて訪問しました。とても寒い日でしたが、約20名位の参加者が熊本支援の為に集まってくださり、皆の心温かさにとっても感謝でいっぱいです。

亘理町、山元町、仙台市若林区、沿岸部に住まれている参加者が数人おり、大震災の時どうなっていたのか等貴重なお話しを聞くことが出来ました。海が目の前で住んでいる方は、「いつも波の音がジャブーンジャブーンと聞こえるんだけど、震災時は本当に静かでいつもと違うから逃げよう！とお父さんが言ったの。すぐに逃げて家族みんな助かったんだけど、家は流されたんだ。」と語り、現在は仮設住宅で暮らしているとのこと。数日前に宮城県に強い地震があり、再度津波警報が出たことに対して、「3/11を思い出して怖かったね...」と。皆さんも同じ思いで不安を抱えながら暮らしています。

皆で一緒にマスコットを作りながらお話しをしたり楽しい一時を過ごし、少しでもこの不安を和らぐことが出来たら嬉しく思います。

お店に飾って華やかにしたい、来年産まれる孫に見せたい、という思いからクリスマス仕様のとても可愛い猫が誕生しました。お店のスタッフ、孫の反応がとても楽しみです。手芸が得意な方はとても細かく丁寧に作り上げ、素敵なお花が誕生。「それ欲しい！」と参加者より大人気で大拍手されていました。

「久し振りに縫ったけど楽しかったよ」「手芸苦手だから作れるか不安だったけど何とか作れて良かったよ」等、皆から大好評の声があり、また、皆さんと笑顔で会える日までとても楽しみにしています。



